

I. 広東省

1 中国国際博覧会に広東省の企業 6,000 社余りが参加

● 5日、第1回中国国際輸入博覧会が上海市で開幕した。広東省からは6,023社が参加する。バイヤーの主な購入製品は、スマート機器及びハイテク設備、食品及び農産品、医療機器及び医薬品類、サービス関連等である（5日付「南方日報」1面）。

2 第124回広州交易会が閉幕

● 4日、第124回広州交易会が閉幕した。215の国と地域から約19万人のバイヤーが訪れた。累計輸出取引額は、2,064.94億元（約297億米ドル）で前年比1%減だった。一帯一路沿線国の輸出取引額は96.3億米ドル（約666億元）だった（5日付「南方日報」11面）。

3 広東省の三つ星以上のホテルで顔認証の利用が可能

● 広東省で5日から、条件を満たせば三つ星以上のホテルの利用が顔認証で可能となる。条件は、広東省の公安機関が発行した居民身分証を持ち、かつ身分電子認証取得または電子版の広東省居住証を所持していることである。あらかじめチャットアプリ「微信」の中のミニプログラム「粵省事」での手続きが必要となる（5日付「南方日報」12面）。

4 習近平・国家主席が第12回中国国際航空航天博覧会に祝賀書簡を送付

● 6日、第12回中国国際航空航天博覧会が珠海国際航展センターで開催された。習主席が祝賀の書簡を送り、同博覧会の開催に熱烈な祝意を表し、出席した各国の代表者や起業家等の代表者達に歓迎の意を表した。習主席は書簡の中で、「人類は昔から限りなく広い大空に憧れを抱き、中華民族は飛行への夢を世代間で継承してきた。19世紀以降、世界の航空・宇宙飛行の科学技術が大きく発展し、人類文明が大きく発展した。将来的には、航空・宇宙飛行の科学技術の発展が必ず人類に多くの福祉をもたらす」と述べた。また、習主席は、「中国は終始世界各国とともに努力し、航空・宇宙飛行の科学技術発展を促進する。20年の努力を経て、中国国際航空航天博覧会は、国際影響力を持つ航空・宇宙飛行系の専門展覧会の一つになり、世界の航空や宇宙飛行の科学技術の発展を推し進めることに積極的な役割を發揮している。今回の展覧会は、世界の航空や宇宙飛行の科学技術の発展に力強く促進し、国際交流・協力、世界各国国民に航空と宇宙飛行技術の発展と成果をシェアし、貢献すると信じている」と強調

した。開幕式では、李希・広東省書記が習主席の書簡を読み上げた。開幕式には、許其亮・党中央軍事委員会副主席、王勇・国務委員、何厚鏘・全国政協副主席、梁振英・全国政協副主席も出席した（7日付「南方日報」1面）。

※中国国際航空航天博覧会は2年に1回開催される。今回は11日まで開かれる。

5 在広州ベラルーシ総領事館が開館

●8日、張光軍・広東省副省長が在広州ベラルーシ総領事館の開館式典に出席し、祝辞を述べた（9日付「南方日報」9面）。

II. 広州市

1 中国国際高齢者産業博覧会が開幕

●8日、中国高齢者産業協会、中国保利グループ有限公司、広東省高齢者工作委員会の共同主催の下、第5回中国国際高齢者産業博覧会が広州市で開幕し、鄧海光・広東省政協副主席が同博覧会に参加した（9日付「南方日報」9面）。

III. 深セン市

1 劉奇葆・全国政協副主席が深セン企業を視察

●6日、劉奇葆・全国政協副主席一行が深センの深セン優必選科技公司と深セン奥比中光公司を視察した。優必選公司では、劉・副主席一行が、スマートロボットの階段下り、ダンス、ボール蹴り、雑談、くしゃみ、腕立て伏せ等の多才な技術を見学した。奥比中光公司では、会社の責任者が、会社の革新技術及び3Dセンシング技術を、テレビ、携帯電話、ロボット、ドローン、VR、AR、スマート家具、セキュリティー、自動車運転補助、教育等での応用について紹介した（7日付「深セン日報」3面）。

※VR（仮想現実）とは、コンピューター上で現実そっくりの仮想世界を作り出し、自身がその場所にいるかのような感覚を体験できる技術。AR（現実拡張）とは、現実世界にデジタル情報を付与して、CG等で作った仮想現実を現実世界に反映していく。

2 広東—欧州投資協力交流会が深セン市で開催

●6日、広東省人民政府、中国欧盟商会（EUCCC）、ドイツ商工会の共同主催の下、2018 広東—欧州投資協力交流会が深セン市で開催された。欧州13ヶ国が参加し、900名余りのゲストが集まった（7日付「深セン特区報」1面）。

●交流会によれば、今年の広東省と欧州の貿易総額は約7,697億元（約12兆6000

億円) で前年同期比 12.1%増だった。昨年の投資額は、欧州から広東省へは約 8 億 4,000 億ドル (約 950 億円), 広東省から欧州へは約 2 億 5,000 万ドル (約 285 億円) だった。

IV. 福建省

1 唐登傑・福建省長が JETRO 代表団と会見

● 5 日, 唐登傑・福建省長が石毛博行 JETRO 理事長率いる代表団一行と上海市で会見した。鄭新聡・福建省副省長も会見に参加した。唐登傑・省長は石毛理事長に対し, 企業関係者と共に福建省を見学し, 友好の使者となって欲しいと述べた。石毛理事長は, 「今回の中国国際輸入博覧会には日本の企業 450 社が出展するなど, 日本企業が中国市場を大変重視していることを示している。多くの日本企業が福建省への視察の機会を増やし, また, 福建省の企業が日本への投資を検討することを歓迎したい。ウィンウィンの関係の更なる発展を実現したい」と述べた (7 日付「福建日報」1 面)。